



四国大学研究ブランディング事業(愛称: **SUBARU**事業)
Shikoku University-Brand Accumulation as Research University
 本事業は阿波藍に関する教育研究実績を継承・発展させ、
 産学公連携研究推進による四国大学のブランド向上を目的

大学改革
 ビジョン2017



藍の家
 1991年4月設立

SUBARU事業本部
 (本部長:学長)

新あわ学研究所
 2017年6月設置

目標
 大学ブランドの構築

PDCAサイクル

H28

事業本部立上げ
 外部からの提案

H29

新あわ学研究所設立
 SUBARU事業本格開始

H30

研究実績、内容等の
 チェックと新企画

H31

中間評価
 藍に関する国際
 フォーラム開催

H32

東京オリ・パラで
 Japan Blueを発信

H33

総括
 継続発展策
 最終評価

「阿波藍」の新たな価値創造を目指した
 文化的・科学的研究及び
 その魅力発信・人材育成拠点の構築

- 1) 藍文化の体系化 → 藍の博物館
- 2) 藍の栽培方法と染め技法の技術開発
- 3) 藍の科学的分析
 染色藍 → 大学オリジナル SU Blue の提案
 食用藍 → 機能性表示食品の開発
- 4) 藍の知の拠点化 → 連携・世界情報発信
- 5) 地域教育の展開 → 地域貢献人材育成

学内外・自治体等との連携

外部組織と連携・外部評価
 徳島県など地元自治体、
 関連企業・経済界
 徳島経済同友会からの提案
 「藍で徳島を盛り上げる提案」

連携研究機関等
 関連企業、地元経済界
 “藍の研究開発プラットフォーム”
 (農水省:知の集積と活用)の場
 徳島県教育委員会、大学校など

文部科学省
 地(知)の拠点

COC事業(H26~H30)
 “とくしまで学び育てる
 地域貢献型人材育成”
 COC+事業(H27~H31)
 との連携、継続発展



目標とする
 大学ブランド

「阿波藍の知の拠点」及び
 「先進的地域貢献型大学」として著名な四国大学

徳島は宣言する
VS 東京

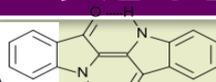
阿波藍を活用した地域創生
 地元・経済界の要望・期待



2020東京オリパラ
 藍色を用いた
 エンブレム



新あわ学研究所 編



インディゴの構造式
 本事業の遂行

藍染の衣装等
 (卒業作品)



タデアイの葉

